

令和2年度第1回真室川町総合教育会議

令和2年10月20日（火）午後2時30分より、真室川町役場3階301会議室において令和2年度第1回真室川町総合教育会議を開催した。

出席委員	町長	新田 隆治
	教育長	門脇 昭
	教育委員	遠田 且子
	教育委員	山田 敏一
	教育委員	鮭延三枝子
	教育委員	中塚 聖子
事務局出席者	総務課長	佐藤 和弥
	教育課長	高橋 雅之
	指導主幹	浅沼 幸治
	学校教育係 課長補佐	山田 千穂
	生涯学習係 課長補佐	須田 英樹
	子育て支援係 課長補佐	栗田 猛

会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
町長
教育長
- 3 報 告
- 4 協議・調整事項（座長：町長）
 - (1) 教育行政の当面の課題について
 - ① 学校教育関係
 - ア ふるさと学習の推進について
 - イ ICT教育の推進について
 - ② 生涯学習関係
 - ア まちなか図書館構想の推進について
 - イ 秋山スキー大会について
 - ウ コミュニティスクールについて

③ 子育て支援関係

ア 幼児教育・保育の質の向上について

(2) その他

5 その他

6 閉会

会議の経過

教育課長

(1 開会)

町長

(2 あいさつ)

本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。令和2年度に入って半年になりますが、コロナ禍ということで様々な課題等がございます。現在、来年度の重要事業について、総務課を中心にヒアリングを行っております。事業実施にあたっては、本日の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。いろいろな議題はありますが、常に話している話題ではないかと思っております。忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

教育長

皆様からは、普段より本町の教育行政において、様々ご尽力をいただき、誠にありがとうございます。町長からも話がありましたが、コロナ禍という事で学校では臨時休業期間がありました。今までに経験したことがなく、判断に悩む事が多くありましたが、皆様のご尽力のおかげで、通常の教育活動を実施できていると実感しております。特に、第一次教育振興計画は2年目となり、大事な1年となっております。このような状況下ではありますが、さまざまな工夫をしながら取り組んでおります。今度ともご理解とご協力をお願いいたします。

今回の会議は、次年度にむけた事業推進に関わる内容になると思っておりますので、よろしく申し上げます。

教育課長

続いて、「次第 4 協議・調整事項」に移ります。教育行政の当面の課題について、係毎に区切りながら、進めてまいります。

座長は町長をお願いいたします。

町長

町内の各地区では総会を実施していないところもあり、また、予定している地区はあるものの、今年は座談会が実施できていない状況です。これまで、町内では祖父母の方が学校や保育所等に関わるご家庭も多く、座談会ではそうしたことへの本音も聞きながら施策を進めてまいりました。

教育委員の皆様も地域の方からお聞きのご意見があれば、ぜひ教えていただきたいと思います。では、事務局から説明申し上げます。

指導主幹

(①学校教育係、ア ふるさと学習の推進について：資料に基づき説明)

- 山田補佐
町長 (①、イ ICT教育の推進について：資料に基づき説明)
それではまず、ふるさと学習について、何か質問・ご意見等ありませんか。
- 遠田委員 英語や道徳の必修化等で学校がやることが増え、ふるさと学習の時間を確保することが難しい状況になっていると思います。一方でふるさと学習を実施したい内容は増えており、学習時間はどのような状況でしょうか、教えていただければと思います。
- 指導主幹 英語や道徳が必修化しましたが、総合的な学習の時間の時間数は確保しています。活字にしてしまうと、かなりの量があるように感じますが、総合的な学習の時間の中で、計画的に取り組んでいるということです。
- 遠田委員 体験活動もある中で、学校ではぎりぎりの状態で時間を確保し、実施しているのではないかとも思われますが、いかがですか。
- 教育長 かねてより各校で特色を出してほしいという話をしており、実際に真室川小学校では「ふるさと検定」の考案、真室川あさひ小学校では伝承野菜の栽培・加工・販売体験、真室川北部小学校では森林と生活の関わり、真室川中学校ではこれからですが、真室川キッズブランドづくりという特色がそれぞれできてきました。特色がでてきたということは、カリキュラムができてきたということです。重点化が図られるため、授業時間に関する課題は解決されてきているのではないかと感じます。
- 鮭延委員 それぞれの特色があることは大変良いことだと考えますが、小学校が町内に3校あるため、各小学校に共通する課題があってもいいのではないのでしょうか。小学校で学習した内容が共通していることで、中学校に進学してから連帯感が生まれるのではないかと思います。
- 教育長 地域の特色を反映することが最優先であると思っていますので、取り組む内容は様々あっていいと考えています。資質・能力については、共通して身につくようにお願いしているところです。小学校卒業時点で共通した認識のもとに資質・能力を育成することで、積み上げのあるふるさと学習になると思います。
- 遠田委員 各校の取り組みのタイトルは異なっていますが、ここから派生した学習もおそらく入ってくると思われるので、その点で共通した学習内容を実施できるのではないかと思います。
- 教育長 私としては、小学校卒業時にふるさと検定をしたいと考えています。わらべ歌を歌うことができる、真室川音頭を踊れるなどの検定にしたいとは考えています。
- 山田委員 ふるさと学習を行った児童が楽しく学んでいる様子が見られ、とても良い傾向だと感じています。これまで、ふるさと学習がどうやって学力

に繋がっているか見えなかったのですが、さきほどの資質や能力ということで納得することができました。

鮭延委員から共通した内容での学習について質問がありましたが、特に鮭延城をもう少し教材として取り扱えないものでしょうか。中学校では自分たちで現地に行ったり、グループ学習で調べたり、いろいろなことができるのではないかと思います。

町長 これに関しては現在教育長とも計画中で、歴史等の内容で講談師の神田紅さんが来てくださり、講談をしてくださる予定です。江戸時代前に戦や領土争い等、さまざまな出来事があったということに興味を持つきっかけにはなるといいと考えています。

山田委員 先日、教育委員会とスポーツ推進委員会を中心とした町民レクリエーション大会が開催され、鮭延城の探索をしてきました。鮭延城から見える景色について、木ノ下の方はきれいに見えるが、町内側が杉の木で視界が遮られ、なかなかきれいに見えませんでした。景観が良くなるように、もう少し整備できるとよいと感じました。

遠田委員 山形市から歴史に興味がある方が鮭延城までわざわざ来たという方もいらっしゃいました。こういう方に良さが伝わるようにできたら良いと感じます。

町長 ただ訪れただけではなかなか良さまで分からず、説明できる人材が必要な場所ではあると思います。内町の方に協力してもらい、杉等は切ってもらっていますが、もう少し対応が必要かと感じました。

遠田委員 教育委員の研修で幼児教育の質の向上を学んできたのですが、金山町の認定こども園めぐたまを訪れた際、遊べる環境が非常に良いと感じました。町立保育所も改修し、子どもたちにとって良い環境になるよう整備していただけたことはありがたいことだと感じます。加えて、町の良さを感じるという点からすると、食と自然環境ではないかと思います。園の中に整備するという事は難しいとは思いますが、各施設の近くに町の自然環境の良さに触れられる環境を作ることはできないのでしょうか。そのような環境があることで、子ども時代に無心になって遊んだという記憶が、良い経験になるのではないかと考えます。

町長 安楽城保育所は周りが民家ということで、保育所から少し離れたところにはなると思います。釜淵保育所では充実した自然環境があり、農業と野菜というテーマで活動しています。こども園は保育所と体制が異なるため、一つのテーマというのが難しいと思われませんが、今後、教育長と園長と話し合いを重ねていきたいと思えます。

教育長 ふるさと学習の話題となりますが、真室川あさひ小学校では起業家精

神を養う県のベンチャーマインド育成事業に3年間取り組みました。すばらしい成果が出ています。今年度で事業は終了しますが、内容の継続と他校への活用等、事業費を厚く考えていかななくてはいけないと思っています。

町長 資料内に事業費のさらなる充実とありますが、現状は各校10万円となっています。

教育長 町からは各校10万円、真室川あさひ小学校のみ、ベンチャーマインド育成事業の経費として県から120万円の補助がありました。

町長 続いて、ICT教育の推進について。現場の様子を見ると、ハード整備が先行しすぎているようにも感じますが、国の補助もあり、ICTをうまく活用していかなければならないという現状があります。ICT機器を活用して情報を調べたとしても、その情報をまとめ、活用することができるかということが大きな課題と考えられます。その点については、教育研究センターを中心に最上地区等で全体研修することや、市販のソフト等を使い、子どもに情報活用について学ばせていくなどの方法が考えられます。このテーマについて、皆さんのご意見等いただければと思います。

山田委員 ICT教育については避けられない学習だと思います。連日SNSを利用した犯罪が報道されていますが、スマホに依存する低年齢の子が多く、子ども任せに使用させないことが重要だと考えます。時間を決めて使用させている家庭もあるとは思いますが、一部ではないかと思われます。きちんとした使い方を教えなければならぬのではないかと考えます。

鮭延委員 その通りだと考えます。そのためには、ICT教育に関する知識を持った指導者が必要ではないでしょうか。

中塚委員 休校時、私の息子に関しては、学校の先生が課題を出してくださいました。復習はできているが、休校期間が長かったため、新しいことはできずに限界があったと感じています。先生方でも得意な方とそうでない方もいると思うので、指導体制などにかかなり工夫が必要だと感じます。また、コロナに限らず、急に休校となったときに、速やかに対応できるようになるには、先生方には大きな負担になると思いますが、準備をする必要があると思います。

教育長 そもそも、プログラミング教育が始まることで機器の整備を予定していました。プログラミング教育は、論理的な手順を踏めるように訓練していくもので、これをうまく教えてくれる先生がまだ少ないのが現状ではないでしょうかと思います。教育研究センターでスペシャリストを講師として、教職員向けに研修するなどの必要があるのではないかと思います。

す。

遠田委員

インターネットが利用できる環境がない家庭への支援など、リモート学習を行うには難しい課題があると思います。後ほど協議される「まちなか図書館」でのインターネット環境を利用させてもらうなど、人数制限はあると思いますが、家庭でなくても利用できる環境が数箇所あると良いかと思います。

他にも、子どもの健康への配慮も考えなくてはいけないのではないのでしょうか。近視の子どもが増えているという情報もあり、その他にも保健指導が必要な点が今後出てくるのではないのでしょうか。

町長

学校と学校の繋がりについて、以前あったテレビ会議システムやペーパーレス化、出勤時間の短縮や事務作業の簡素化など教職員には効果が見られるのではないのでしょうか。働き方改革の視点も含めて進めていただきたいです。

教育長

機器が導入され、すぐに効果が出るものではないため、最上郡全体で研修をしたり、各市町村教育委員会で研修したりしていかなくてはならないと思います。先生方にできるだけ負担の無いように進めていきたいと考えています。

また、ICT 機器について万能のような風潮があるが、私はそうではないと考えます。特に義務教育段階では、教育のベースとして体験活動が重要であると考えます。確かに ICT 教育の推進も大事ですが、バランスを見定めていかなければなりません。また、これが健康面ともつながっていくのではないかと考えております。

町長

ICT 機器の活用によって、学校で学習した内容の反復学習は簡単にでき、試験の点数は取れるようになると思います。ただし、そのように使用するだけでよいのか、ということは議論があると思います。

今回の ICT 教育に関する環境整備では、児童生徒が自宅で使用できるような環境も整備されます。ルーターをつけて電話回線でやるということで準備しているため、Wi-Fi 環境がない家庭でも使用できるような環境です。

鮭延委員

経費はかかるのですか。

町長

公費負担となります。

教育課長

通信環境が整っている家庭はそちらを使っただき、通信環境が整っていない家庭には今回整備する機器を活用できなかいかが検討しております。

町長

4G 回線について町内の普及率は、60～70%になります。これから高速回線がさらに整備されていくと思われしますので、こちら使っていけ

ればと思います。

それでは続いて、生涯学習関係について、事務局から説明をお願いします。

須田補佐
町長

(②生涯学習関係の当面の課題について、一括で説明)

図書館構想から話をしていきたいと考えますが、教育委員会で話をしている話であり、教育長より報告を私も聞いている話にはなりません。ご意見等あればいただきたいと思います。

遠田委員

町民の方から公民館の玄関ホールのような工夫は伝わっており、好評だと聞いています。

図書館の充実のためにぜひ考えていただきたいことは、司書の配置についてです。現在、各校にも町図書館にも司書がない状況です。司書の勉強をして、図書館運営業務を預けられるように人員を配置していただくと、各施設をつなぐ役割も担っていただけるようになると思うので、図書の有効活用ができるようになると思います。

中央公民館の改修という話がありますが、町民の方が交流しやすいような雰囲気にしていただきたいです。本を並べているだけではなく、質の高い文化的な雰囲気を大事にした改修をしていただきたいです。

また、間もなく庁舎の引っ越し作業が始まると思われませんが、昔話の録音や録画をした資料があると聞いています。教育委員会ではなく、現役場庁舎にあると聞いていたのですが、非常に価値のある資料だと思いますので、誤って処分されないようにぜひ保存していただきたいです。研究者にとっても貴重な資料になると思いますので、ぜひお願いします。

町長

以前関係者から話を聞きましたが、残念ながら、資料は廃棄処分されているとのこと。断片的に残っている可能性があると思いますので、職員で判断せずに専門知識のある方に確認しながら書類整理をしていきたいと思います。現在残っている資料については、相談しながら整理していく意向です。

公民館の改修に関しては、図書館に限った改修ではなく、教育委員会事務局が新庁舎へ移動した後、どのように有効活用できるかも含め、長期的な視点での改修となります。

中塚委員

中央公民館の図書館は、雰囲気づくりに努力されているなど感じています。図書もたくさん購入いただいているようですので、広報で少し紹介されていますが、さらに広く紹介いただけると良いかと思います。

去年の保育所訪問時、釜淵保育所に本を読むスペースはあるが、置いてある本が古く、少ないと感じました。また、中学校にも本が少ない印

象があり、生徒が読みたい本を探せていないのではないかと思います。保育所や学校の図書もぜひ増やしてほしいです。

町長 保育所の図書については予算がついておりました。購入は済んでいますか。

栗田補佐 すでに購入しております。

町長 現在、社会教育指導員は司書の資格は持っているが、図書館司書としての採用ではないため、専門的な業務としては難しいのが現状です。今後は、配置に係る費用等も含め、検討が必要です。

鮭延委員 県立図書館との連携は考えられませんか。

須田補佐 図書館間のネットワークがあるので、連携して県立図書館と町図書室の本を相互に借用しています。

教育長 借用したい図書を選択し、直接県立図書館に借りに行っています。

町長 個人での利用も可能だったと思いますが。

教育長 個人で利用することもできます。

町長 現状についてもより周知していくとよいかと思います。

教育長 図書の紹介について、システムが導入されるとホームページ上での紹介もできます。さらに、図書室だよりでの紹介など、より広く周知できるようにしたいと思います。

鮭延委員 各学校に司書教諭の配置はできるのですか。

教育長 12学級以上の学校には配置されますが、町内には1校で12学級ある学校がないため、配置の義務はありません。資格取得については個人の意向によるため、教職員も働きながら資格を取得するシステムはあっても、余裕がないのが現状です。

山田委員 以前、まちなか図書館構想検討委員会を傍聴した際に、公民館を改修する案と新たに造るという案があったと記憶しています。

子どもたちが自由登校になった後に、体育館の3階でスマートフォン等を使っている高校生の姿をよく見ます。町の中に自由に利用できる居場所作りが必要だと思っています。その場として図書館は、くつろぎながら本を読んだり、学習したり、多目的な利用方法が考えられると思います。先日、白鷹町の役場庁舎の記事を新聞で読んだのですが、庁舎内に図書館やラウンジもあり、とても良いなと感じました。ハード、ソフト面でさまざまな課題があると思いますが、子どもたちが町の中に誇れるものがあると感じられるような方向になってほしいと思います。

町長 現在、中央公民館内に子育て支援センター、町民の方が利用する調理室があります。健康管理センターにも調理室があるため、位置づけをどうするかなど、検討事項はあります。必ず改修するというわけではなく、

今ある施設をどのように使用するかという構想がないと、改修までの話に進むことは難しいと思います。

図書館のハード面の整備には補助金が見当たらないですが、複合施設としては交付金など補助制度はあるため、活用できるものを勉強するように職員に指示しています。

また、中央公民館だけに偏らないように、他施設とのバランスを見ながら進めていく必要があります。ハード面で図書館施設がどうしても必要であるとなれば、検討していくことになるのではないかと思います。

秋山スキー大会については、携わっていただける方が少なくなっております。出場選手も減ってきています。そのような状況を考慮し、今後の方向性を検討する必要があります。ただし、実行委員としてだけではなく長期間携わっていただいた方への配慮は考えなくてはいけないと思います。

教育長 今後は、高校入試が数年後に3月7日又は8日に前倒しとなるため、日程が重なることが予想されます。その際は、実施することが難しくなってくる。

町長 今後、見極めていく必要があります。

教育長 現在の状況を考えると、今後の方向性を決めて舵を切らないといけない時期に来ているという課題認識があります。

町長 大会を止めるということだけでなく、形を変えて実施するということも考えながら検討する必要があると思います。

コミュニティ・スクールに関して、委員の皆様は詳しくご存知のことと思います。ただ、地域が気になるころではあります。

教育長 数年後に義務化するため、必ずやらなければならないこととなります。

町長 続いて、子育て支援係より説明してください。

栗田補佐 (③子育て支援関係の当面の課題について、一括で説明)

町長 保育士の業務をシステム導入により、パソコン操作の業務に変わること、軽減できるかということもあり、保育システムが本当に必要なのかどうかということも含めて検討が必要かと思います。

教育委員の皆さんは、各施設を視察する機会がありますので、その際に実態を確認いただければと思います。

教育長 来月の訪問で実態を聞いていただきたいと思います。保育士からも直接意向を聞いております。

町長 個別対応という観点からは、パソコンでは対応の限界があると思われます。保育施設へのICT導入に限らず、質問やご意見があればお願いし

ます。

遠田委員 新庁舎の視察をさせていただきましたが、寄贈してもらった絵画等、町のシンボリックなものになるものを掲示するスペースなどを考えていただければと思います。

町長 会議室や応接室などスペースはあると思います。庁舎のみでなく、中央公民館や遊楽館など、他施設で町民の方に多く目にさせていただくことも検討したいと思います。

総務課長 今いただいたご意見も踏まえて、掲示スペースを再度検討したいと思います。

町長 今後、移動した後にも随時検討しながら考えていく必要があると思います。

山田委員 ふるさと伝承館の利用について、差首鍋地区の方との兼ね合いもあるとは思いますが、場所が遠くて使いにくいと感じます。町中に移転はできないでしょうか。町内に移転することで現在より幅広く活用できると思います。

町長 番楽フェスティバルを中央公民館で実施したことがあります。歴史を感じられる場所でした方がよいという意見もあり、現在は伝承館で開催しています。番楽については、町内に3つの団体があり、平枝はふるさと伝承館で、釜淵・八敷代は地元の公民館を使っています。無形文化財との関わりも大事だと思っているので、各団体の意見を尊重していきたいと思っています。

遠田委員 教育委員会では各団体の意向を聞いたことがありますか。

町長 釜淵番楽保存会からは、以前、建物が欲しいと聞いたことがあります。

須田補佐 地域コミュニティへの補助金を活用できなんでしょうか。釜淵地区全体で6地区として統一した公民館を建てられないか、地元の方が検討した経緯があると聞いていますが、建設までは至っていません。

町長 建設する土地についても相談があったと思いますが、その後、話は進んでいないところです。団体の意見を聞く必要があると思います。

他にございませんか。

無いようですので、議題としては以上です。

教育課長 ありがとうございます。

次第5「その他」はございません。

今年度内に2回目の総合教育会議の開催が予定されていますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、第1回真室川町総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。

